

# 2018年3月期第3四半期 決算補足資料

## 2018年2月9日

(本資料の数字は1億円未満を四捨五入で表示しています。  
四捨五入の関係で、合計が合わない場合があります。)

(単位: 億円、%)

業績概要	2017年3月期 3Q		2018年3月期 3Q		増減	
	売上比		売上比		増減率	
売上高	3,517		3,927		410	11.7
営業利益	170	4.8	63	1.6	-107	-62.9
経常利益	139	4.0	87	2.2	-52	-37.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	70	2.0	48	1.2	-22	-31.3
減価償却費	215		232		17	7.9
設備投資額	218		173		-45	-20.6
※為替レート(期中平均レート):	106.6円/ドル		111.7円/ドル		5.1円/ドル	
※ドバイ原油(期中平均価格):	44.7ドル/バレル		53.1ドル/バレル		8.4ドル/バレル	

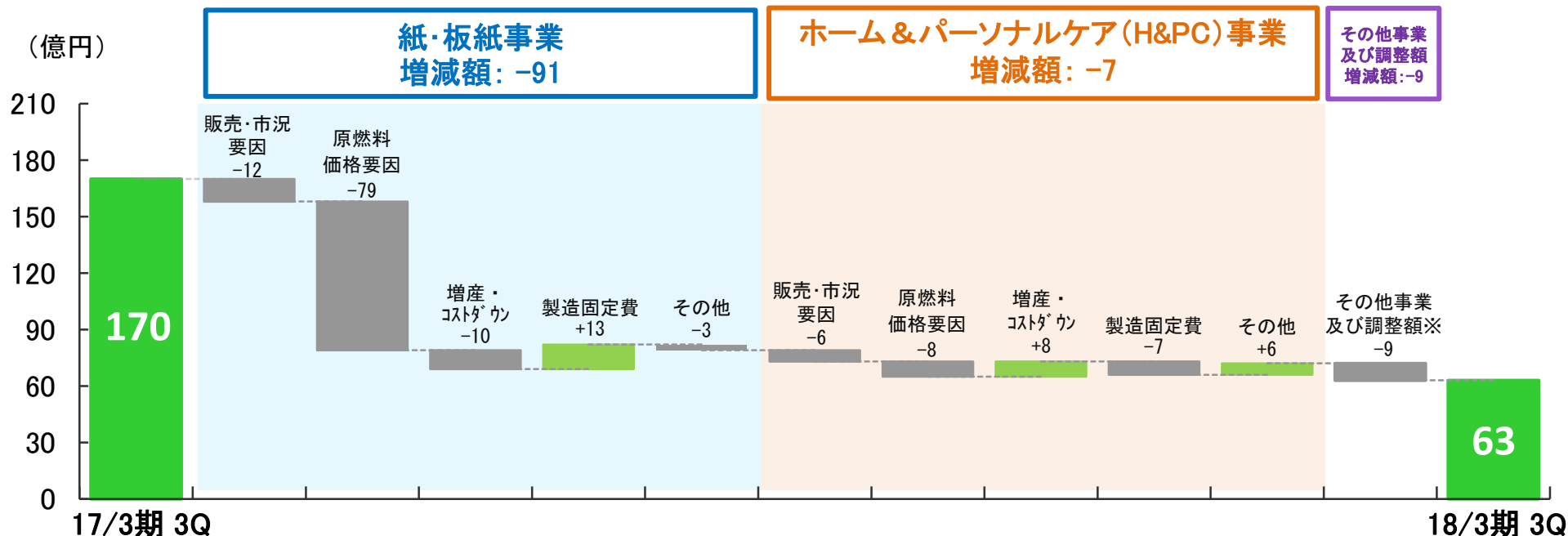
財務状況	2017年3月末	2017年12月末	増減
純有利子負債	2,551	2,982	431
自己資本比率	26.8 %	26.2 %	-0.6
ネットD/Eレシオ	1.4	1.6	0.2

## 注記

※ 第1四半期連結会計期間より、株式取得に伴い、ダイオーペーパープロダクツ株式会社(DPP)及び同社子会社である3社(東海製紙工業株式会社、ダイオーポスタルケミカル株式会社、大和紙工株式会社)、並びに三浦印刷株式会社を連結の範囲に含めています。また、2017年4月1日付で、エリエールプロダクト株式会社(連結子会社)の紙製品事業を会社分割により承継したエリエールペーパー株式会社(非連結子会社)を重要性が増したため、連結の範囲に含めています。これにより、連結子会社は30社(2017年3月末)から36社(2017年12月末)となりました。

## 連結営業利益 増減計 -107億円

(2017年3月期 3Q累計: 170億円 → 2018年3月期 3Q累計: 63億円)

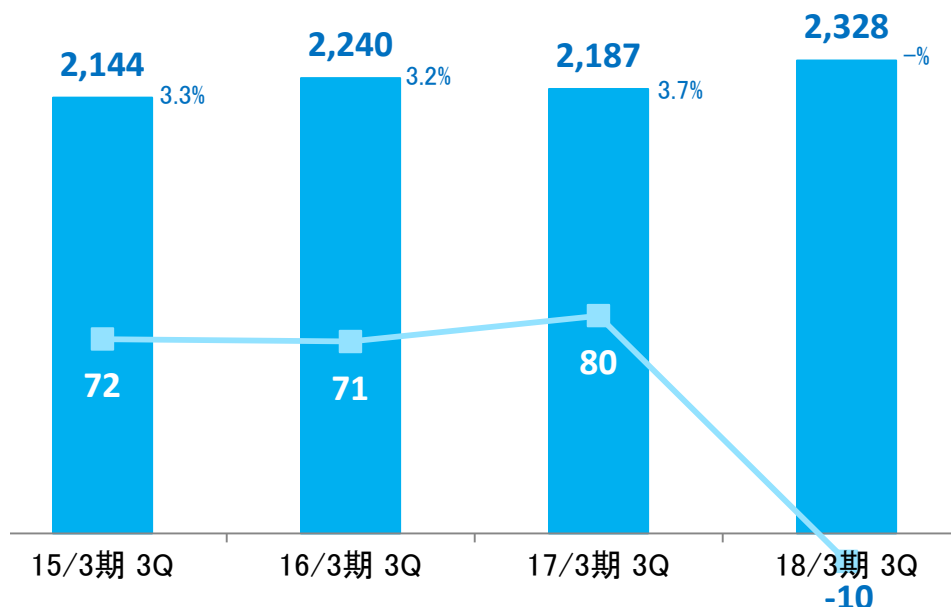


	紙・板紙	H&PC	その他※	計	紙・板紙 主な要因	H&PC 主な要因
販売・市況要因	-12	-6	-	-18	品種構成改善+2、単価-14	数量増+10、単価-16
原燃料価格	-79	-8	-	-87	古紙-66、石炭-14、チップ-6、重油-5、 薬品他-4、在庫移動平均+16	パルプ+2、SAP等-6、薬品 他-2
増産・コストダウン	-10	8	-	-2	歩留・配合-6、エネルギーコスト-1	増産+10、エネルギーコスト-2
製造固定費	13	-7	-	6	修繕費+4、労務費+3、減価償却費+2	労務費-3、減価償却費-2、修繕費-1
その他	-3	6	-9	-6	新規連結+5、物流費減+3、 段ボール子会社の収益悪化-12	新規連結+3、海外事業-3 他
<b>営業利益増減計</b>	<b>-91</b>	<b>-7</b>	<b>-9</b>	<b>-107</b>		
増益要因 計	13	14	-	27		
減益要因 計	-104	-21	-9	-134		

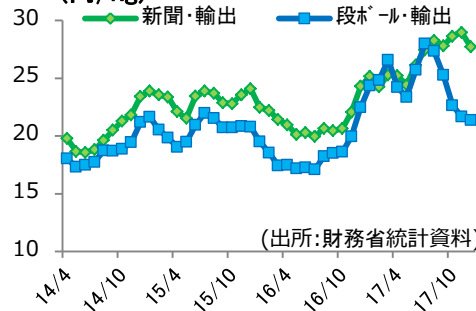
※「その他」の区分は「その他事業」及び「調整額」の合計です。「その他事業」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材事業、造林事業、機械事業、運送業、売電事業、ゴルフ場事業、駐車場事業及び不動産賃貸事業等を含んでいます。「調整額」についてはセグメント間取引消去に係る調整額です。

# セグメント別業績概要 (紙・板紙)

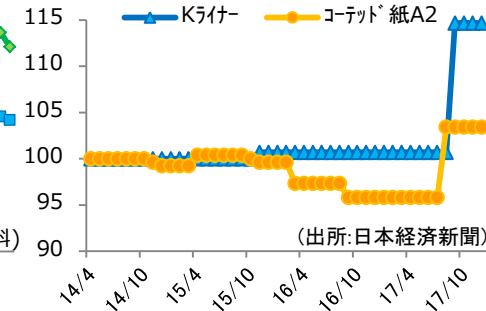
(単位:億円) ■ 売上高 □ 営業利益 (損失) % 営業利益率



A) 古紙価格動向 (円/kg)



B) 製品価格動向 (14年4月=100)



## ◆セグメント利益

印刷用紙、段ボール原紙の値上げにより、当第3四半期会計期間(10~12月)は黒字転換したものの、古紙や原燃料価格の上昇および印刷用紙の値上げの決着が当初見込みから遅れたことにより、前年同四半期を下回りました。

### 増減額(率)

売上高	+141 +6.4%
営業利益	-91 -112.9%

### 主な増減要因

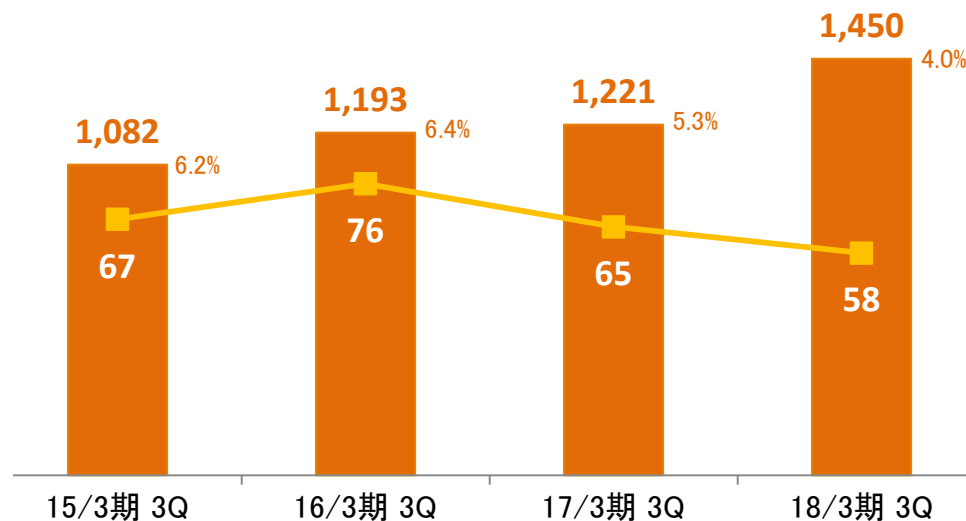
販売・市況要因	-12
原燃料価格要因	-79
増産・コストダウン	-10
製造固定費増	13
その他	-3
計	-91

### 主要品種

主要品種	前年同期比		
	数量	金額	主な要因
新聞用紙	-	-	-発行部数、頁数減少
洋紙	→	+	+連結子会社の増加 -国内需要の落ち込み
板紙・段ボール	+	+	+通販や飲料を中心とした加工食品分野等の需要増加 +段ボール原紙の値上げ

# セグメント別業績概要 (H&PC)

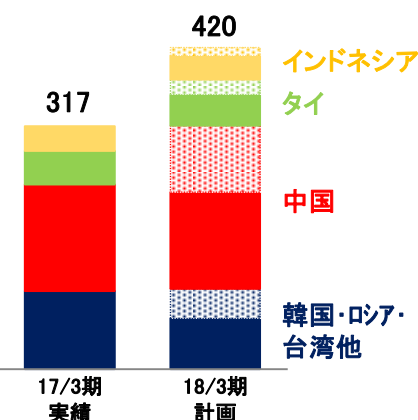
(単位:億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 % 営業利益率



## ◆H&PC海外事業

中国、タイ、インドネシアにおけるベビー用紙おむつの販売拡大だけでなく、フェミニンケア用品やウェットワイプ等の他カテゴリでの品揃えや拡販を進め、各国での多品種化と事業の拡大が進んでいます。

■ 実績 (18/3期は3Q累計実績)  
 ■ 18/3期4Q計画



## ◆セグメント利益

国内事業、海外事業ともに販売が順調に推移したものの、1Q会計期間(4~6月)での中国の販売促進費用が一時的に高まった影響により、前年同四半期を下回りましたが、2Q会計期間(7~9月)、3Q会計期間(10~12月)では、前年同四半期を上回りました。

### 増減額(率)

**売上高** **+229**

**+18.8%**

**営業利益** **-7**

**-10.6%**

### 主な増減要因

販売・市況要因	-6
原燃料価格要因	-8
増産・コストダウン	8
製造固定費増	-7
その他	6
<b>計</b>	<b>-7</b>

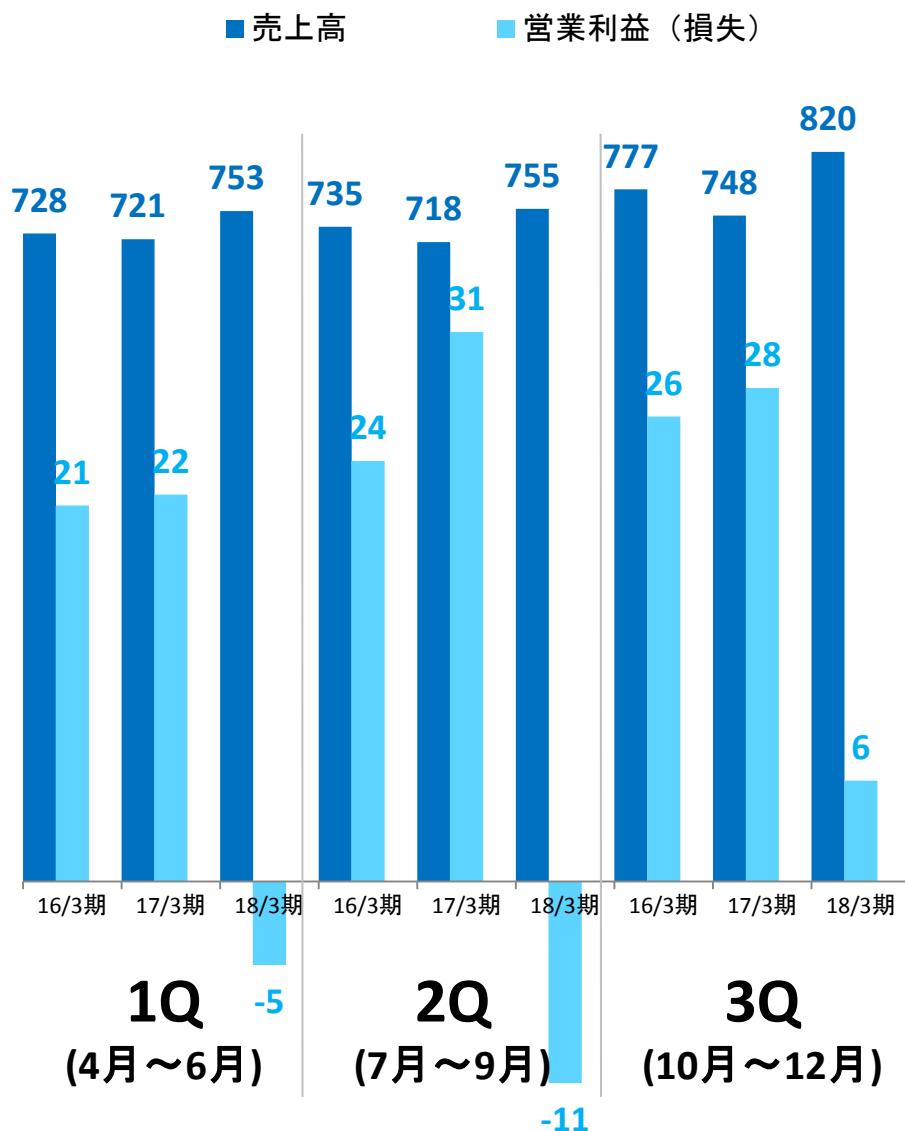
### 品種別販売金額増減要因

衛生用紙	+	+ 日清紡HDからの紙製品事業譲受による販売拡大 + 各カテゴリにおける付加価値品への販売シフト
ベビー用紙おむつ	+	+ 「スピード通気」にこだわった全面リニューアルによる販売伸長
大人用紙おむつ	+	+ 業務ルートにおける新規獲得件数の伸長 + 市販ルートにおける夜用1枚安心パッドシリーズの拡販、および天然素材表面シートの差別化要素によるコンチネンス市場向け商品の販売伸長
フェミニンケア	+	+ リニューアルしたスリムナプキンを軸とした店頭露出の向上 + 吸水ライナーの配荷拡大
ウェットワイプ	+	+ 新発売のフロアワイパー、および全商品にCNFを配合したトイレクリーナーの リニューアル等により販売好調
海外事業	+	+ ベビー: 中国における販売単価の高い商品の拡販、タイおよび周辺国における 拡販、インドネシアにおけるパンツタイプの販売伸長 + フェミニンケア: タイにおける現地生産品の出荷開始、韓国における「elis」ブ ランド認知拡大および販売促進活動の強化 + ウェットワイプ: 中国における「天使シリーズ」ブランドのおしりふき新商品の 発売、タイにおける消費者ニーズに対応し多品種の商品を揃えたこと

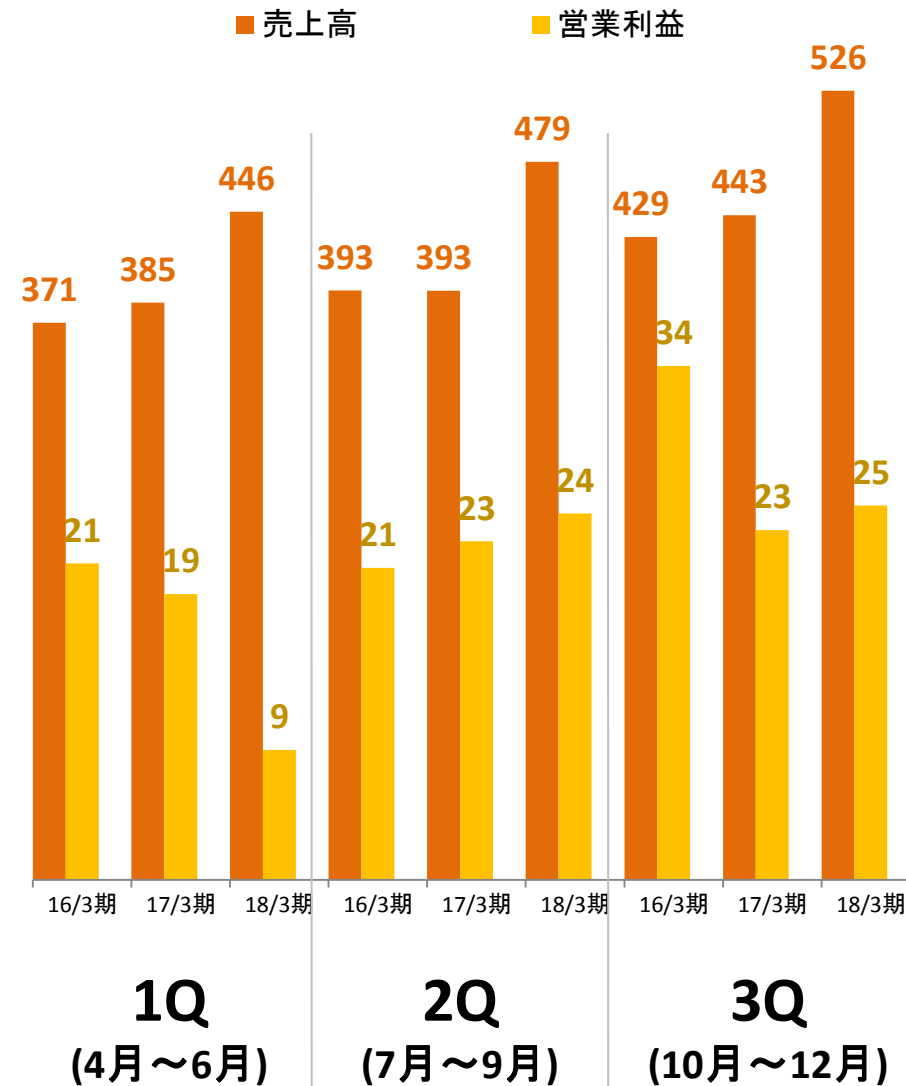
# セグメント別業績概要 (四半期別推移)

(単位: 億円)

## 紙・板紙事業



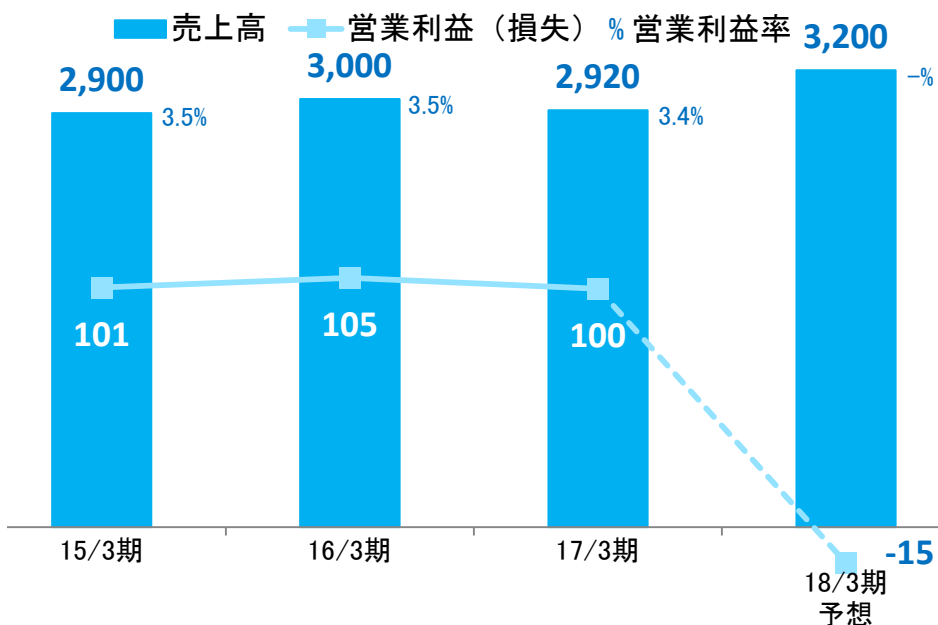
## H&PC事業



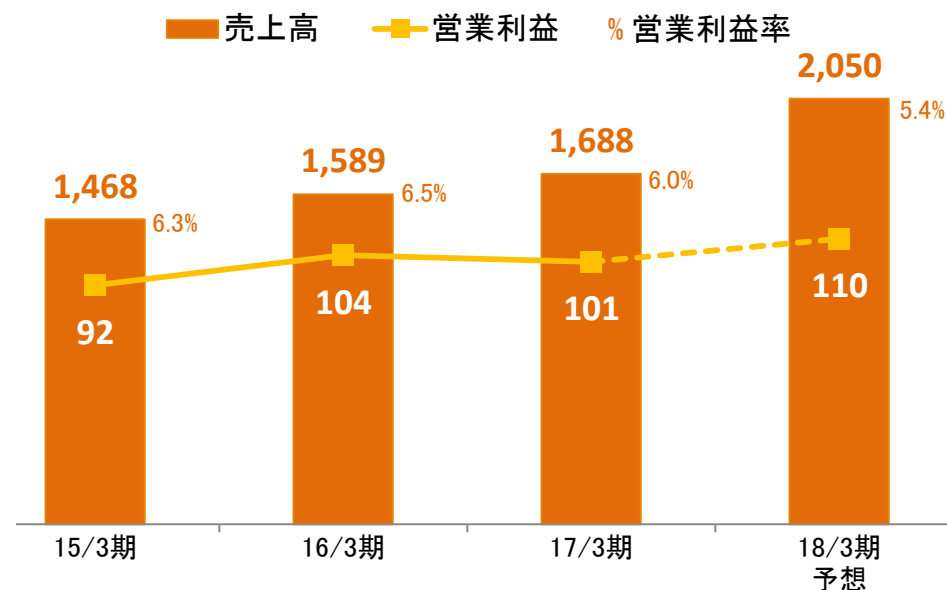
# セグメント別業績予想

(単位: 億円)

## 紙・板紙事業



## H&PC事業



### 3Q累計期間 実績

#### 紙・板紙

(前期実績)

#### H&PC

(前期実績)

#### その他(調整額含む)

(前期実績)

#### 計

(前期実績)

	売上高	営業利益 (損失)	利益率
紙・板紙	2,328	-10	-
H&PC	1,450	58	4.0%
その他	149	15	
計	3,927	63	1.6%
(前期実績)	3,517	170	4.8%

### 2018年3月期 通期予想

	売上高	営業利益 (損失)	利益率
紙・板紙	3,200	-15	-
H&PC	2,050	110	5.4%
その他	150	15	
計	5,400	110	2.0%
(前期実績)	4,771	235	4.9%

※ M&Aによる貢献については、紙・板紙、H&PC、その他のそれぞれのセグメントに含めております。

## 将来見通しに関する注意事項

- ※ 本資料に記載されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記載されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。